

大すきなタブレットタイム【小学校低学年】

- 1 主題名 じかんをまもって
- 内容項目 A 節度、節制
- **2 ねらい** 2つの日記を比較し、主人公そうたの心の変化を話し合うことを通して、時刻を守ることのよさに気付き、時間を大切にしようとする心情を育てる。

3 展開例

	学習活動と主な発問	指導上の留意点
導	1 学習課題について考えをもつ。	・児童の身近なことと関連させながら問題意識をもた
入	・好きなことに夢中になっているときは、どん	せ、ねらいとする道徳的価値への方向付けを図る。
	な気持ちでしたか。 時間を守るとどんなよい	いことがあるでしょうか。
展	2 教材「大すきなタブレットタイム」を聞き、	
開	話し合う。	
	(1)タブレットの画面から芽が出たとき、そうた	・主人公そうたに自我関与させ、夢中になるとその後
	は、どんなことを考えたでしょうか。	のことを考えず、時間を気にせず行動してしまうこ
		とがあることについて、人間理解を深める。
	(2)あと少しで、芽から葉っぱが開きそうなとき、	・時間を気にせず行動したことで困ってしまった経験
	そうたはどんなことを考えていたでしょう	から、自分のやりたいこととどちらを優先させるか、
	か。	そうたの揺れ動く心の内を考えられるようにする。
	(3)昨日より問題を進められなかったのに、どう	・2つの日記を比べることで、時間を大切にすること
	して、そうたはすっきりとした気持ちになっ	のよさについて考えを深めていけるようにする。
	たのでしょうか。	・ブランコに乗れたことや友達との約束を守れたと答
		える児童には、どうしてそうすることができたのか
		を問い返し、考えさせるようにする。
	3 自己を見つめ、振り返る。	・学習したことから、時間を守って行動することのよ
	時間を守るよさについて考えるとともに、時	さについて考えるとともに、自分自身の生活を振り
	間を大切にすることについて、自己を見つめ、	返り、よさや課題に気付き、今後の生活に生かして
	振り返る。	いけるよう考えを深める。
終	4 教師の説話を聞く。	・身の回りの整理整頓、安全のきまりを守ること、規
末		則正しい生活をすることなど、節度節制に関する他
		の事例を取り上げ、価値理解を広げる。

4 教材作成の意図と取扱いの留意点

1人1台端末の活用により、児童生徒が端末を活用する機会が増えた一方、デジタル端末の長時間利用や、それに伴う姿勢の悪化、視力の低下等、健康への影響も危惧されている。端末を適切に活用し、児童生徒の学びを豊かなものにしていくためにも、使用時間を守り適切に端末を活用できる能力を高めていく必要がある。本教材は、時間を守って行動することのよさについて考えることで、端末を適切に使用し、活用できるようにしていくことを目的に作成した。タブレットの学習に一生懸命取り組むことはよいことであるが、夢中になってやりすぎてしまうと本来やるべきことや、自分がやりたいことができなくなってしまうこともある。タブレットを適切に活用し、時間を大切にしていくことについて、児童の考えを深めていくことが大切である。本教材の活用にあたっては、問い返しを行い、「ブランコに乗れてよかった」という浅い価値理解ではなく、時間を守ることが自分自身の快適な生活につながるという価値理解まで考えが深まるようにしていきたい。

あさがおのかんさつで【小学校低学年】

- 1 主題名 よいことと悪いことをよく考えて 内容項目 A 善悪の判断、自律、自由と責任
- **2 ねらい** 写真を撮られた時の感じ方の違いを話し合うことを通して、してはならないことに気付き、よいことと悪いことをよく考え、正しく行動しようとする判断力を育てる。

3 展開例

	学習活動と主な発問	指導上の留意点
導	1 学習課題について考えをもつ。	・児童の身近なことと関連させながら問題意識をもた
入	・「してよいこと?わるいこと?」 クイズをしま	せ、ねらいとする道徳的価値への方向付けを図る。
	す。選んだ理由を言いましょう。	
	「よいこととわるいこと」につ	いてみんなで考えましょう。
展	2 教材「あさがおのかんさつで」を聞き、話	・してよいことと悪いことを考え、正しく行動するた
開	し合う。	めにはどんな気持ちが大切か考えることを伝える。
	(1)みきとたけしの顔をタブレットで撮っている	・相手の思いを考えず、自分の思いだけで行動してし
	まりは、どんな気持ちだったでしょうか。	まうまりの気持ちについて、人間理解を深める。
	(2)おこったようなたけしを見て、何も言えなく	・思いがけずたけしがおこっている様子に、気持ちが
	なってしまったまりは、どんなことを考えて	揺れ動き、悩み、考え始めるまりの気持ちとたけし
	いたでしょうか。	の思いを考えさせる。
	(3)どんな思いで、まりは、たけしにあやまって	・相手の思いを考えずに行動したことが、相手を傷つ
	いたのでしょうか。	けてしまうことになってしまったと気付いたまり
		の思いに触れ、今後はよく考えて正しく判断してい
		こうとする思いにつなげる。
		・役割演技を行い、児童の思いを表現することもよい。
	(4)次の日あさがおの観察をしているまりは、ど	・よいことと悪いことを正しく区別し、よく考えて行
	んな気持ちで写真を撮っていたでしょうか。	動していこうとするまりの思いに共感させる。
	3 自己を見つめ、振り返る。	・学習したことから、正しく善悪の判断をして行動す
	よいことと悪いことをよく考え正しく行動す	ることについて自分との関わりで考える。自分のタ
	ることについてこれまでの自分を振り返る。	ブレット内の写真を見ながら振り返ることもよい。
終	4 教師の説話を聞く。	・彩の国のどうとく「してはならないことがある」を
末		取り上げ、価値理解を広げる。

4 教材作成の意図と取扱いの留意点

本教材の作成の意図は、善いことと悪いことを正しく区別し、行動することの大切さについて考えさせることである。1人1台端末の活用により、端末を用いて写真を撮り、記録したり写真をもとに話し合ったりする学習も低学年から取り組まれるようになった。それに伴い、悪気はなくても、撮った写真が思わず相手を傷つけてしまう等、今まで起こらなかったトラブルが起こることも想定される。

指導にあたっては、主人公だけでなく、相手方の思いについても多面的に考えを深めることで、人により感じ方が違うことに気付かせたい。また、先生の「よく考えて」の言葉の意味を考えることで、何でも撮ってよいわけではないことについて、児童の考えを深めていけるよう話合いを展開していきたい。事前指導として、生活科等と関連させ、タブレットで写真を撮る活動を行っておくと、より自分との関わりで考えることにつながる。本教材は、今後、肖像権や著作権、個人情報保護法等の理解につながっていく教材である。

よろこびはだれに【小学校中学年】

1 主題名 仲間を守るきまり

内容項目 C 規則の尊重

2 **ねらい** インターネットを介した学習から、インターネットでのルールを考えることを通して、 約束やルールがあってこそよりよい人間関係や集団生活が築けることに気付き、進んで 守ろうとする態度を育てる。

3 展開例

	יעותוניו)	
	学習活動と主な発問	指導上の留意点
導	1 約束やルールについて考える。	
入	・私たちの学校や家庭、地域にはどんなルール	・身の回りの約束やルールを確認し、約束やルール
	があるでしょう。どうしてきまりがあるので	について問題意識をもたせる。
	しょうか。	
展	2 教材「よろこびはだれに」を聞き、話し合う。	
開	(1)新記録を達成した「わたし」はどんな気持ちに	・努力の末の新記録達成に歓喜し、その喜びや感謝
	なったでしょうか。	の気持ちをインターネットでも共有したい「わた
		し」の気持ちを共感的に考えられるようにする。
	(2)「わたし」はタブレットに向かいながら、どん	・タブレットに書き込みながらも、ためらう「わた
	なことを考えているでしょうか。	し」の葛藤を考えられるようにする。
		・タブレットに書き込みたい気持ちと書き込みをし
		てはいけないという相反する感情を表現できるよ
		うに、心情の見える化や板書の工夫が考えられる。
	(3)「わたし」は、先生の話を聞きながら、どんな	・ルールを守ることは、みんなが気持ちよく生活し
	ことを考えているでしょうか。	ていくために必要だと気付いていく「わたし」の道
		徳的価値の高まりをより明確にする。
		・補助教材(埼玉県ネットトラブル注意報等)を使
		い、情報モラルにふれることも考えられる。
	3 自己を見つめ、振り返る。	・自分の経験を振り返り、今後の生き方について自
	約束やルールはなぜ必要なのか、今までの自分	分らしく表現できるようにする。(決意表明を求め
	の生活を振り返り、今日の授業で考えたことを	たい。)
	書く。	
終	4 教師の説話を聞く。	・児童が主体的に約束やルールを守り、生活してい
末		こうと思えるように余韻を残す。
	####★本丽 Tela A MI	

4 教材作成の意図と取扱いの留意点

今まで以上に、授業においてインターネットを介した学習の場面が増えることが考えられる。児童には、情報には様々な権利があることを理解させるとともに、これらの権利を守ることの大切さを考えさせたい。

「きまりは守らなくてはいけない」ということは児童も分かっており、日常生活でも守ろうとしている。しかし、インターネットに関わる「権利」や「ルール」については、難しいものと思われる。さらに、「気付く」ことと「できる」こともまた別物である。インターネットの活用は、ルールの遵守なしでは成り立たない。一人一人がそのルールの意義や目的を理解した上で、それらを主体的に守り、よりよい集団や社会をつくっていくことが大切である。

流れていく先【小学校中学年】

- 1 主題名 豊かな自然を守るために
- **内容項目** D 自然愛護
- **2 ねらい** 身近な川の汚れと海洋汚染とのつながりから、環境保全の重要性について考える学習を 通して、自然やその中に生きる動植物の大切さを理解し、自分なりにできることを考え、 自然を大切にしていこうとする実践意欲を育てる。

3 展開例

	学習活動と主な発問	指導上の留意点
導	1 自然との関わりについて考える。	・「海に潜って魚を見た。」「新鮮な魚を食べた。」など
入	川や海などに行ったことはありますか。ど	の発言から、川や海など自然の素晴らしさや私たち
	んなことを体験しましたか。	の暮らしとのかかわりについて問題意識をもたせ
		る。
展	2 教材「流れていく先」を聞き、話し合う。	・範読前に初めからP2・5行目までを条件・情況と
開		して伝えることも考えられるようにする。
	(1)友達と葉っぱのボートレースをしていると	・放課後に友達と自然の中で遊ぶと楽しさや自然と触
	き、「ぼく」はどんな気持ちだったでしょうか。	れ合う気持ちのよさについて、共感的に考えられる
		ようにする。
	(2)「ぼく」はお兄ちゃんから海鳥や海の中のプ	・「ぼく」に自我関与させていく中で兄とのやり取りを
	ラスチックごみの話を聞いて、どんなことを	通して、自然環境が悪化している現状と人間との関
	考えているでしょうか。	わりについて考えを深められるようにする。
	(3)「この海、なんとかしたいよな。」というお兄	・環境保全に関心をもち、身近なところから自分なり
	ちゃんの言葉を聞いて、ぼくはどんなことを	にできることを実践しようとする思いを考えられる
	考えているでしょうか。	ようにする。
		・「ぼく」(児童)と兄(教師)の役割演技を行うこと
		で主題にせまることも考えられる。
	3 自己を見つめ、振り返る。	・自然を大切にできた経験を振り返ったり、本時の学
	今までの自分の生活を振り返り、今日の授業	習から考えたりしたことが書けるようにする。
	で考えたことを書く。	・補助教材(社会の教科書や動画等)を使い、環境に
		対する意識を高めることも考えられる。
終	4 教師の説話を聞く。	・児童から出た考え方や言葉を用いながらねらいに関
末	地球上にある、生活に使える水の量について	わる説話をすることで、価値に対する印象を深めさ
	話をする。	せる。

4 教材作成の意図と取扱いの留意点

海洋プラスチックごみによる海や生物への影響は非常に大きく、漁業や観光業など、産業にも被害が出ている。埼玉県に住む多くの児童にとって、「海」は、観光・レジャーで訪れる"きれいな場所""楽しい場所"であり、海洋汚染問題を、生活と結び付けて考えられる児童は少ない。教材作成にあたっては、豊富な河川を有する埼玉県の特色や、4年生の社会科の「飲料水を供給する事業」「廃棄物を処理する事業」の学習との関連を考慮し、川と海のつながりから海洋汚染問題について考えられるようにした。

本教材を取り扱う上で重視したいことは、「ポイ捨てをしない。」に留まらず、プラスチックごみを減らしていかなければならない社会の中で、なぜプラスチックは流してはいけないのか、その理由を考えたり、自然や生物の立場に立って、自分事として自分たちに何ができるかを考えさせたりすることも大切である。また、私たちが海から得ている恩恵の大きさや SDGs (持続可能な開発目標)等にも触れながら、海洋生物を大切にすることが自分たちの命を守ることにもつながっていることにも気付かせたい。

離れていても【小学校高学年】

- 1 主題名 互いに信頼し合う友情
- **内容項目** B 友情、信頼
- **2 ねらい** 友情の在り方について、多様な感じ方や考え方を出し合い吟味する過程を通して、物理 的な距離ではなく信頼し合うことが友情を深めるために大切であることに気付き、より よい友人関係を築いていこうとする態度を育てる。

3 展開例

	学習活動と主な発問	指導上の留意点
導	1 友情についての事前アンケート結果を見	・「いつも側にいてくれる」といった回答から、これか
入	る。	ら本時で考える友情についての問題意識をもたせ
	・あなたにとって大切な友達とは、どのよう	る。
	な友達ですか。	
展	2 教材「離れていても」を聞き、話し合う。	
開	(1)仁の後ろ姿を見ている時、ぼくはどんな気持	・仁の後ろ姿を見ている時のぼくの驚き、悲しみ、不
	ちだったでしょうか。	安等の気持ちを考えることを通して、本時のねらい
		と対立する「友情は近くにいないと成立しない」と
		いう仁の捉え方を明確にする。
	(2)父の会議の様子を見た後、父からの言葉を聞	・父の話を聞き、不安が消え、安心するぼくの気持ち
	いたぼくは、心の中でどんなことを思ったで	を考えることを通して、相手を信頼し、大切にする
	しょうか。	気持ちがあれば友情は壊れないということを考えら
		れるようにする。
	(3)遠く離れた場所で、笑顔の仁を思い浮かべて	・離れていても友情を大切にしている2人と、それぞ
	いる時、ぼくはどのようなことを考えていた	れが近くにいる友達ともよい関係を築いていること
	のでしょうか。	を考えさせる。
	(4)友情を深めていくために大切なことはどのよ	・教材を通して話し合った、「物理的な距離ではなく、
	うなことですか。	信頼し合うことが友情を深めるために大切である」
		ということを、より明確にする。
	3 自己を見つめ、振り返る。	・問いかけに対し、したことがあった児童はその時の
	(4)で考えたように、離れていても信頼する気	自分の経験を振り返り、したことがなかった児童は
	持ちがあれば友情を深めていけるという考え	新たな学びとして自分が考えたことを書くことがで
	方をしたことがありましたか。	きるようにする。
終	4 教師の説話を聞く。	・離れている友達について教師の経験を話したり、何
末		よりも大事なことは相手を大切に思う心であること
		を話したりすることが考えられる。

4 教材作成の意図と取扱いの留意点

コミュニケーションの方法が変化しても、人と人とのやりとりや、関わり方の根底にあるものは変わらない。このことを踏まえ、本教材は、情報機器を活用するよさと合わせて、それらを活用する人間の思いについて扱っており、「友情、信頼」について考えることを意図した教材である。さらに、事後資料(「こんな使い方ができるよ」)において、タブレット(※)を使う様々なよさについても触れ、使用する際、そこにある人間同士の思いが重要であることを、改めて押さえられるよう配慮していく必要がある。

未来を見つめるまなざし【小学校高学年】

- **1 主題名** 誰にでも偏見の心が
- 内容項目 C 公正、公平、社会正義
- 2 **ねらい** 父や陽太の話を聞いて自分の考え方を見つめ直す主人公「ぼく」の気持ちを考えることを通して、悪気がなくても周りの人に対して偏った見方をしていることがあるかもしれないことに気付き、誰に対しても公正、公平な態度で接し、多様な背景をもった人々と協調して生きていこうとする態度を育てる。

3 展開例

	学習活動と主な発問	指導上の留意点
導	1 事前アンケートの結果を見る。・これまで偏見や差別を見てひどいと感じたことはありますか。それはどんなことでしたか。	・公正、公平についての問題意識をもつ。・3の学習活動の際に、再度改めて示すことで、より 印象的に自分との関わりでこれまでの自分を見つめ られるようにする。
展開	 2 教材「未来を見つめるまなざし」を聞き、話し合う。 (1)外国人アスリートのような選手が入場してくるところを見ている時、ぼくはどんな気持ちだったでしょうか。 (2)父の話を聞き、自分の考え方との違いに気付きはじめたぼくは、ベッドに横になって、どんなことを考えていたでしょうか。 	 ・見た目で決めつけているぼくの心を考え、誰にでも 悪気はなくても偏見をもっていることがあることに ついて人間理解を深められるようにする。 ・目には見えない一人一人の生き方や努力に称賛を送 る父と、目に見える結果や見た目で判断していたぼ くの違いを比較できるようにする。自分の中にある 偏った見方や考え方を自覚したぼくの心の内を考え られるようにする。
	(3)未来を見つめるように話す陽太の話を聞き、ぼくはどんなことを考えたでしょうか。	・相手を知りたいという思いや、実際に相手に働きかけることの大切さに気付くぼくの気持ちから、偏った見方をなくし、よりよい関係を築くことについて希望をもてるようにする。
	3 自己を見つめ、振り返る。・14個の人権課題を知り、自分にも悪気はなくても偏った見方をしていることがなかったか、自己を見つめ振り返る。	・事後資料「話し合ってみよう」の①②を読み、その 後に14個の人権課題を知らせる。人権課題を知っ た上で考えると、無自覚のうちに悪気はなくとも偏 った見方や考え方をしていたことがなかったか、自 分を振り返り、見つめられるようにする。
終末	4 教師の説話を聞く。	事後資料「話し合ってみよう」の③④を投げかけて、 問題意識をもたせて終わることも考えられる。

4 教材作成の意図と取扱いの留意点

令和3年1月に示された「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して(答申)」では、「5 増加する外国人児童生徒等への教育の在り方について」の基本的な考え方として、日本人の子供を含め、異文化理解・多文化共生の考え方に基づく教育の更なる取組が求められている。このことも踏まえ、本教材は、見た目が外国人アスリートのような児童を話題とし、「公正、公平、社会正義」について考えることを意図している。教材では、外国人についての人権を窓口としているが、埼玉県の人権課題に視点を広げることで、自分にも偏った見方や考え方をして無自覚のうちに人を傷つけていることがあるのではないかと、改めて自己を振り返り考えられるようにした。

外国人児童や外国にルーツをもつ児童がいる場合には、その児童や学級の状況等に十分配慮した上で授業を 行うようにすることが求められる。

最後の思い出【中学校】

1 主題名 友の幸せを願う

内容項目 B 友情、信頼

2 **ねらい** 主人公の友達を喜ばせようととった行動が想いと違った方向へ進んでしまい後に引けない葛藤と大切な時を失ってしまった後悔の念について話し合う活動を通して、友達の幸せを願い真に大切にすべきことは何かを見極め行動しようとする態度を育てる。

3 展開例

	学習活動と主な発問	指導上の留意点
導	1 友達のためにする行動について考える。	・友達のために、何かをしてあげたいという気持ちに
入	・これまでに友達のために、何かしてあげたこと	共感させる。
	はありますか。また、その時の友達の反応はど	・楽しい雰囲気で意見を自由に出させるとともに、授
	うでしたか。	業後半の展開への布石とする。
展	2 教材「最後の思い出」を聞き、話し合う。	
開	(1)潤子の告白を聞いたとき、真奈はどんな気持	・親友との別れであり、とても大きなショックを受け
	ちだっただろうか。	たことを押さえたい。
	(補助発問)	・補助的に潤子の気持ちを聞くことで、終末の問いへ
	潤子はどうだろう。	も生かせる。
	(2)やる気に満ち溢れていた真奈はどんなことを	・悪気はなく、潤子のためにと一心に行動しているこ
	思っていただろうか。	とを気付かせたい。
	(補助発問)	・その反面、SNSのやりとりにのめり込んでいる気
	他の仲間はどうだろうか。	持ち(人間の弱さ)にも共感させる。
	(3)一人で家に帰る途中、真奈はどんなことを思	・少しずつ冷静になり、自分の行動を見つめ直してい
	っていただろうか。	る気持ちを考えさせたい。
	(補助発問)	・よかれと思ってやっているが、結果として潤子のた
	結花からのメッセージがこなくなってしまっ	めになっていないということに気付くも、すでに収
	たときはどんな気持ちだっただろうか。	拾がつかなくなりだしている焦り、悩んでいる葛藤
		部分を話し合いたい。
	(4)「もっと、みんなと話したかった。」という潤	・取り返しのつかない深い後悔の念に触れたい。
	子の言葉を聞いて、真奈はどんなことを思っ	・この後の真奈の姿を想像させることで、友達を幸せ
	ただろうか。	にするため、本当に大切にすべきことは何だったの
	(補助発問)	かを考えさせたい。
	この後、真奈はどうしていくだろう。	
	3 本時の学びを通して、振り返る。	
	・今までの自分の生活を振り返り、今日の授業	
	で考えたことや感じたことを書く。	
終	4 教師の説話を聞く。	・友達の幸せを願い真に大切にすべきことは何かを考
末		え続けていこうという雰囲気で終える。

4 教材作成の意図と取扱いの留意点

生徒を取り巻くSNS上でのコミュニケーションは、急激に変化し、より複雑なものになってきており、様々なトラブルへと発展してしまうリスクが高くなっている。そこで、本教材は、情報機器の使い方により、すれ違いが生じてしまうといった内容になっている。

また、生徒の発達の段階や特性等を考慮し、終末は取り返しがつかない場面で終わる形になっており、深い後悔と悲しみと向き合い、真に大切にすべきものは何なのかを問える教材となっている。

男らしさ女らしさ、自分らしさ【中学校】

- 1 主題名 充実した生き方を求めて
- 内容項目 A 向上心、個性の伸長
- **2 ねらい** 登場人物に自我関与し、自分らしさについて多面的・多角的に考えることを通して、性差についての社会通念を超えた自分らしい生き方を追求する心情を育てる。

3 展開例

	学習活動と主な発問	指導上の留意点
導	1 男らしさ、女らしさについて考える。	・今までの学習を想起させ、男女のイメージについて、
入		意見を出させる。
展	2 教材「男らしさ女らしさ、自分らしさ」を	
開	聞き、話し合う。	
	寛幸…中学校1年生。野球部に入る。本当は 恵 …寛幸の友達。拓己と同じ野球部に所属	
	星香…寛幸、恵の同級生。サッカー部に所属	している。制服はスラックスを着用。
	(1)「ああ嫌だ、何もかも嫌だ」という寛幸は、ど	・自分らしくありたいと思う一方で、一般的な「男ら
	ういうことが嫌なのだろうか。	しさ」に合わせようとしたり、言いたいことが言え
		なかったりする寛幸のもやもやした気持ちに共感さ
		せる。
	(2)「自分らしさか。」とつぶやく寛幸はどんなこ	・星香の話を聞き、自分らしく生きることについて考
	とを考えているだろうか。	えている寛幸の気持ちに共感させる。
	(補助発問)	・寛幸自身が自分らしさについて正面から向き合って
	星香の話を聞いて、寛幸はどう思っただろう	考えはじめたことを押さえる。
	か。	
	(3)恵を朝食に誘う寛幸は、どんな思いか。	・自分らしく生活しようとする寛幸のすがすがしさに
		共感させる。
	3 本時の学びを通して、振り返る。	・本教材や話合いを通して、感じたこと、考えたこと、
		これからの生活に生かしたいことを道徳ノート等に
		記入する。
終	4 性の多様性に関する新聞記事等を紹介す	・性の多様性に関する新聞記事等を活用し、教科書と
末	ప .	は違った視点で考えさせる。

4 教材作成の意図と取扱いの留意点

昨今の人権課題の1つとして、性の多様性の尊重が取り上げられている。生徒の中には、LGBTQに該当する生徒がいることが考えられる。学校では、性の多様性について学習したり、制服が選択できるようになったりと、学びの機会や対応は少しずつ広がっている。そのような中、生徒が「男らしさ、女らしさ」といった社会通念上の性差の観念にとらわれることも否定することもなく、「自分らしい生き方」を考えることができる教材が必要と捉え本教材を作成した。

本教材の取扱いについては、授業を受ける生徒の中に、当事者がいるかもしれないということを前提とするとともに、一人一人が思っている「男らしさ、女らしさ」を否定することなく、「自分らしく生きること」を ねらいとすることが大切である。また、「人権感覚育成プログラム(学校教育編)第2集」を併せて活用する など、他教科等との関連を図りたい。本授業では、道徳科の特質を重視し、学級活動との違いを明確にすることに留意する。

すべての人に読書の楽しさを【中学校】

1 主題名 よりよい社会の実現

内容項目 C 社会参画、公共の精神

2 ねらい 主人公の困難に挫けそうになる心と、すべての人が生きやすい社会を実現しようと行動 する姿について話し合う活動を通して、よりよい社会の実現のために何ができるか考え ようとする実践意欲を育む。

3 展開例

学習活動と主な発問 指導上の留意点 導 1 よりよい社会を実現していくことついて考 ・自由に発言できる雰囲気をつくる。 入 ・生徒の意見を分類する。(自分のため、人のため、世 える。 ・皆さんは、これからどんな社会を作っていき 界のため、環境のためなど) たいですか。また、今の社会の抱える課題は 授業後半に振り返りができるようにまとめる。 何かありますか。 展 2 教材「すべての人に読書の楽しさを」を聞 開 き、話し合う。 (1)佐藤さんはどのような人物だと感じたか。ま ・視覚障害者の自分だからこそといった前向きな気持 た、佐藤さんが目指す社会とは、どんな社会 ちを捉えさせる。 だと思うか。 どんな人ものびのびと生きられる社会。 (2)完成したデイジー図書が日本で普及しなかっ ・「必要とされてないならやめようか」というようなマ イナスな気持ちも引き出し、心の奥に潜む葛藤につ たとき、佐藤さんはどんなことを思っただろ うか。 いて考えさせる。 (3) 「今日はなんてよい日なんだろう。」と言った ・自分のやってきたことは間違いなかった、親子に幸 せな時間を与えることができたという気持ちに共感 佐藤さんはどんな気持ちだっただろうか。 (補助発問) させたい。 佐藤さんや社会はどのようになって行くだろ 一人の社会への思いが波紋のように広がり、やがて うか。また、それはなぜか。 社会を変えていけるような大きな力へとなることに も気付かせたい。 3 本時の学びを通して、振り返る。 ・誰かが作っていくものではなく、自分から行動して (1)みんなが目指す社会を作るためには、どんな いくものであることに気付かせたい。 ・それはなぜか、理由(気持ち)を問い、回読部回 ことが大切だろうか。また、あなたはどんな 漠然とした解ではなく、真の理解に近 ことをしていきたいと思うか。 (2)今までの自分の生活を振り返り、今日の授業 づけたい。 で考えたことや感じたことを書く。 ・佐藤さんの仕事に対する思いに触れる。※参考動画資料 ※上に示してある参考動画資料は、文字の読み書きに 著しい困難を抱える障害について説明した動画(約 7分)なので、事前指導や事後指導に活用すること が可能である。 終 4 佐藤さんの動画を視聴する。 ・より良い社会の実現のために何ができるか考え続け 末 ていこうという雰囲気で終える。

4 教材作成の意図と取扱いの留意点

現在、ICTを活用することにより、今まで以上に多様な表現をすることや、多様な人々との交流をすることが可能となってきた。そこで、本教材は、そのようなICTのプラス面に触れることを通して、ねらいに迫ることができるよう作成した教材である。

また、埼玉県の実在の人物を取り上げ、身近な教材として親しみやすいものとなっている。一方で、登場人物の偉業に感銘するのみにとどまってしまう可能性もあるため、何事も小さなことから始まり、やがて多くの人々へ波及していくといった社会連帯の視点からも捉えさせたい。

コロナ禍で気付いたこと【中学校】

- 1 主題名 自分の役割は何か
- 内容項目 C よりよい学校生活、集団生活の充実
- **2 ねらい** 自分の役割について、様々な立場から多面的・多角的に考える活動を通して、集団の中での自分の役割や責任について考え、日常生活に生かそうとする実践意欲を育てる。

3 展開例

	学習活動と主な発問	指導上の留意点
導	1 新型コロナウイルスについて、知っている	・新型コロナウイルスによって、人々の生活が制限さ
入	ことを発表する。	れたり、困難に直面したりした人がいることを知る。
展	2 学習課題を立てる。	
開	社会という集団の中で、どんな思い を大切に生活していきたいか?	・学習課題は、導入を踏まえ、生徒の問題意識を活用して作成する。
	3 教材「コロナ禍で気付いたこと」を聞き、 話し合う。	
	(1)カナコやケンタは、自分の立場でできること	・家族やクラブチームの一員として、自分の役割につ
	について、どんなことを考えているだろうか。	いて模索する気持ちに共感させるとともに、どのよ
		うな責任を果たせるかについて、考えさせる。
	(2)それぞれの立場の人の考えを通して、あなた	・資料ページにある、様々な立場の人々の意見を参考
	はどう考えるか。	にしながら話し合う。役割や責任を果たして日常生
		活や社会生活に生かそうとする人々の姿を多面的・
		多角的に考えさせる。
	(3)日々の生活で大切にしていきたい思いは何	・社会という集団でよりよく生活するにあたり、どの
	か。	ような思いや考え方が必要なのか、自分事として話
		し合わせる。
	4 本時の学びを通して、振り返る。	・困難に直面しても、自分が置かれた立場の中で、役
		割と責任を果たすことについて振り返る。
終	5 資料を見て考える。	・2つの資料を見て、多くの人がワクチン接種を行っ
末		たことや、新しい生活様式に適応しようとしたこと
		などから、自分なりに集団に貢献する気持ちを醸成
		する。

4 教材作成の意図と取扱いの留意点

新型コロナウイルス感染症は、瞬く間に世界中に広がった。人々の生活様式は大きく変化し、人と人との接触の削減、飲食店等の休業要請等、人々の生きがいや目標までも奪う事態となった。そのような中で、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のために、社会全体の中で、自分の役割を認識し、その責任を果たす様々な立場の人々の考えを話し合うことを通して、生徒がこれから社会の中で生きていく中で、どのような思いを大切にしていきたいかを考えることができるように、本教材を作成した。

活用にあたっては、生徒の実態を十分に把握し、傷つく生徒がいないかどうか、配慮をもって臨みたい。また、本教材は「問題解決的な学習」を中心に据え、生徒が自分の生活と比べながら、多面的・多角的に考えることができるように工夫することが大切である。社会という集団の中で、一人一人が自分の役割を認識し、その責任を果たすことについて生徒の考えが深まるように、話合いをファシリテートしたい。

認め合うこと、高め合うこと【高校】

- 1 主題名 共に高め合える関係とは
- **内容項目** B 友情、信頼
- 2 **ねらい** 多様な考えをもつ登場人物たちの気持ちについて考える活動を通して、相手との立場や 考え方の違いを乗り越え、真の友情やよりよい信頼関係を築くために、共に寄り添いな がら考え続ける態度を育む。

3 展開例

学習活動と主な発問	指導上の留意点
1 スマートフォンを使ってやっていること、	・生徒にとって身近なスマートフォンの使用方法につ
できることについて考える。	いて考えてみる。その際、時に便利さとは違う側面
	があることにも留意できるようにする。
2 教材「認め合うこと、高め合うこと」を読	・B~Eのそれぞれの発言の理由になっている道徳的
み、話し合う。	価値(【】内)についても触れながら考えさせる。
(1)Вはなぜ、Eに対して怒ったのか。Вの本心	・Bの怒りの裏にあったEに対する友情、信頼の気持
はどんな気持ちか。	ちについて気付かせる。 【 B友情、信頼 】
(2)Cは、どんな友人関係が理想と考えているの	・Cの友情、信頼の基準について考えることで、人に
ガ ン。	よる価値観の違いについても考えさせる。【A自主、
	自立、自由と責任】
(3)Dは、Eのどんな気持ちが分かると考えてい	・Dを通して、Eの気持ちに共感させるとともに、真
るのか。	の友情、信頼のための相互理解の必要性について気
	付かせる。【 B相互理解、寛容 】
(4)なぜEはAに先ず相談したのか。AはEに対	「Aなら私の気持ちわかってもらえるかもしれない」
して、どんな気持ちをもっているのか。	というようなEの気持ちから、Aの共感する姿勢に
	気付き、3の考察につなげる。【 B思いやり、感謝 】
3 Aたち5人のグループが、真によりよい関	・集団の中で相手との立場や発言の理由になっている
係を築くためには、どうしたらよいか考える。	道徳的価値の違いに留意しつつ、その上で互いを認
	め合い、真の友情や信頼関係をどうしたら築いてい
	けるかについて考えさせる。
4 本時の学びを通して、振り返る。	・感想シートを準備して、記入させる。
・スマートフォンの使い方に関する新聞記事	・スマートフォンの使い方やよりよい人間関係の築き
等をもとに考える。	方について、考え続ける姿勢づくりを意識する。新
	聞記事等を活用することも考えられる。
	1 スマートフォンを使ってやっていること、できることについて考える。 2 教材「認め合うこと、高め合うこと」を読み、話し合う。 (1) Bはなぜ、Eに対して怒ったのか。Bの本心はどんな気持ちか。 (2) Cは、どんな友人関係が理想と考えているのか。 (3) Dは、Eのどんな気持ちが分かると考えているのか。 (4) なぜEはAに先ず相談したのか。AはEに対して、どんな気持ちをもっているのか。 3 Aたち5人のグループが、真によりよい関係を築くためには、どうしたらよいか考える。 4 本時の学びを通して、振り返る。・スマートフォンの使い方に関する新聞記事

4 教材作成の意図と取扱いの留意点

BYOD回線の整備などによってスマートフォンなどICT機器の活用は、現在の高校生にとって家庭はもちろん学校内でも大変身近なものになっている。しかし、その便利さの反面、対面でのコミュニケーションが減少していることや、学校外でも友人と過度に密接につながることで、トラブルに発展したり、人間関係に悩み、葛藤したりする生徒も増加している。そのため、スマートフォンとの向き合い方について考えながら、集団生活の中で相手との立場や考え方の違いに留意しつつ、その上で真の友情や信頼関係を築き、認め合い、高め合える関係づくりを進めるために考え続けられるよう留意したい。

よりよい社会をつくるために ~渋沢栄一の思いの灯~ 【高校】

1 主題名 他者と共に生きる

内容項目 C 社会参画、公共の精神

2 ねらい 渋沢栄一の理念を現代社会と結びつけながら考える活動を通して、社会参画や公共の精神に対する自らの役割や責任について考え、将来の自身の人生に生かそうとし続ける実践意欲を育む。

3 展開例

	学習活動と主な発問	指導上の留意点
導	1 成人になる (なった) ことについて、変化	・自由に発言できる雰囲気をつくる。
入	することについて考える。	・生徒の意見を分類する。(特に社会参画・公共の精神
	「成人になって変わる(変わった)ことはあ	に関わる内容を引き出す。)
	りますか?」	・授業後半に振り返りができるようにまとめる。
展	2 教材「よりよい社会をつくるために」を聞	
開	き、話し合う。	
	(1)栄一の人生のターニングポイントはいつだろ	・栄一の人生の転機における選択の理由を考えること
	うか。また、その時々で彼はどのようなこと	で、彼の揺れ動く心情や葛藤に気付かせる。
	を思っただろうか。	・栄一の迷いや葛藤が、のちの栄一の人生を切り拓く
	(2)栄一はどのような人物だと感じたか。また、	要因や社会参画への考え方の基盤ともなったことに
	栄一はどのような社会を目指していたか。	ついて気付かせる。
	3 自身の将来について、よりよい社会を築く	・社会とつながるために大切なこと、他者と共に生き
	ための自らの役割や責任について考える。	ることの大切さに気付かせる。
	(1)社会とどうつながるのか。	・自身ができる身近な行動について、より具体的に考
	(2)社会をよりよくするために自分は何ができる	えさせる。
	のか。	・栄一の人生を参考に、社会参画や公共の精神への意
	(3)そのために、自分はどのように行動したらよ	識を高めるためにどう行動するか、そこからどのよ
	いのか。	うな経験を積んでいくべきかについて考えさせる。
4h		
終一	4 本時の学びを通して、振り返る。	・教師自身が社会参画や公共の精神について考え続け
末	・資料をもとに考える。	る姿勢を自ら示すとともに、渋沢栄一に関する書籍や
		新聞記事等の資料を活用することも考えられる。

4 教材作成の意図と取扱いの留意点

新型コロナウイルス感染症の感染拡大による経済不安や地球温暖化による環境問題など、現代社会を取り巻く現状は厳しさを増している。そんな中、ともすれば人々は利潤を追い求めがちである。しかし、社会全体がよりよく発展するためには他者と共に生きることや社会参画の意識、公共の精神をもつことが大切である。そこで明治時代に自ら実践し、その大切さを説いた埼玉の偉人・渋沢栄一の理念について、生徒に自らと結びつけさせながら考えさせたい。その際、渋沢が様々な経験や葛藤の中からそれらの考え方を導き出したことや、成年年齢18歳引下げにも留意して、生徒が自分事として考えられるよう、発問や指導方法を工夫したい。

令和三年度 「彩の国の道徳『未来に生きる』」 教材作成協力委員会

監修・作成委員・協力等

常見 澤田 昌弘 玉川大学客員教授 國學院大学教授

【作成委員】(◎は会長、○は副会長)

◎島方 〇清水 鴻巣市立広田小学校長 幸手市立幸手中学校長

〇松下 ○藤間 隆子 加須市立加須西中学校長

髙橋 史郎 伸治 県立朝霞高等学校 教頭 ,口市立芝南小学校 主幹教諭

島藤 嘉之 和也 日高市立武蔵台小学校 蕨市立塚越小学校

渡 小 星邊 林 野 由美子 行田市立下忍小学校 三郷市立幸房小学校 教諭

祐里

皆野町立皆野小学校

並 図 木 斉 上尾市立上平中学校

木 神村 田 洋 介 寄居町立城南中学校 滑川町立滑川中学校 教諭 教諭

徳江 大澤 典由 県立新座高等学校 春日部市立春日部南中学校 教頭

石塚 県立白岡高等学校

東松山市教育委員会 副主幹兼

めぐみ 南部教育事務所 久喜市教育委員会 指導主事

北部教育事務所 指導主事

県立総合教育センター

指導主事兼所員

県立学校部高校教育指導課指導主事

新井 千鶴 三井住友海上火災保険株式会社

赤石 埼玉ライオンズ

県立久喜図書館

神 山 佐藤 元 岐阜特別支援学校 地域支援センター長

県立伊奈学園中学校《表紙・中表紙作成》(五十音順) 加賀谷 在美・越塚 澄乃・近藤 心・外岡 あやな

県立伊奈学園高等学校美術部《挿絵作成》(五十音順) 上田 智子・江頭 美榮・小椋 風花・小原 理彩子・

舘野 本田 智香・土谷 結真・山口 藍侍 亜緒・都築 さくら・深谷

明莉

資料・写真提供】

埼玉県教育局市町村支援部人権教育課

倉敷市教育委員会人権教育推進室

渋沢史料館

県立深谷商業高等学校

【事務局】

市町村支援部義務教育指導課長

県立学校部高校教育指導課長

県立学校部高校教育指導課教育指導幹 市町村支援部義務教育指導課教育指導幹

市町村支援部義務教育指導課指導主事 県立学校部高校教育指導課主幹兼主任指導主事 市町村支援部義務教育指導課主幹兼主任指導主 森 松 永 孝博

田中 岡島 鎌田 邦典 勝之

渡辺

山本

「彩の国の道徳『未来に生きる』」 令和4年3月発行

発行 埼玉県教育委員会

編集 埼玉県教育局市町村支援部義務教育指導課

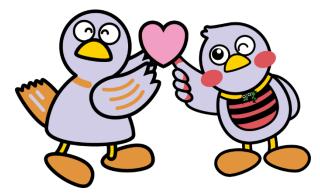
〒330-930Ⅰ

埼玉県さいたま市浦和区高砂3-15-1

電 話 048-830-6748

F A X 048-830-4962

E-mail a6750-03@pref.saitama.lg.jp



埼玉県マスコット「コバトン」「さいたまっち」